JSP

新登場!!

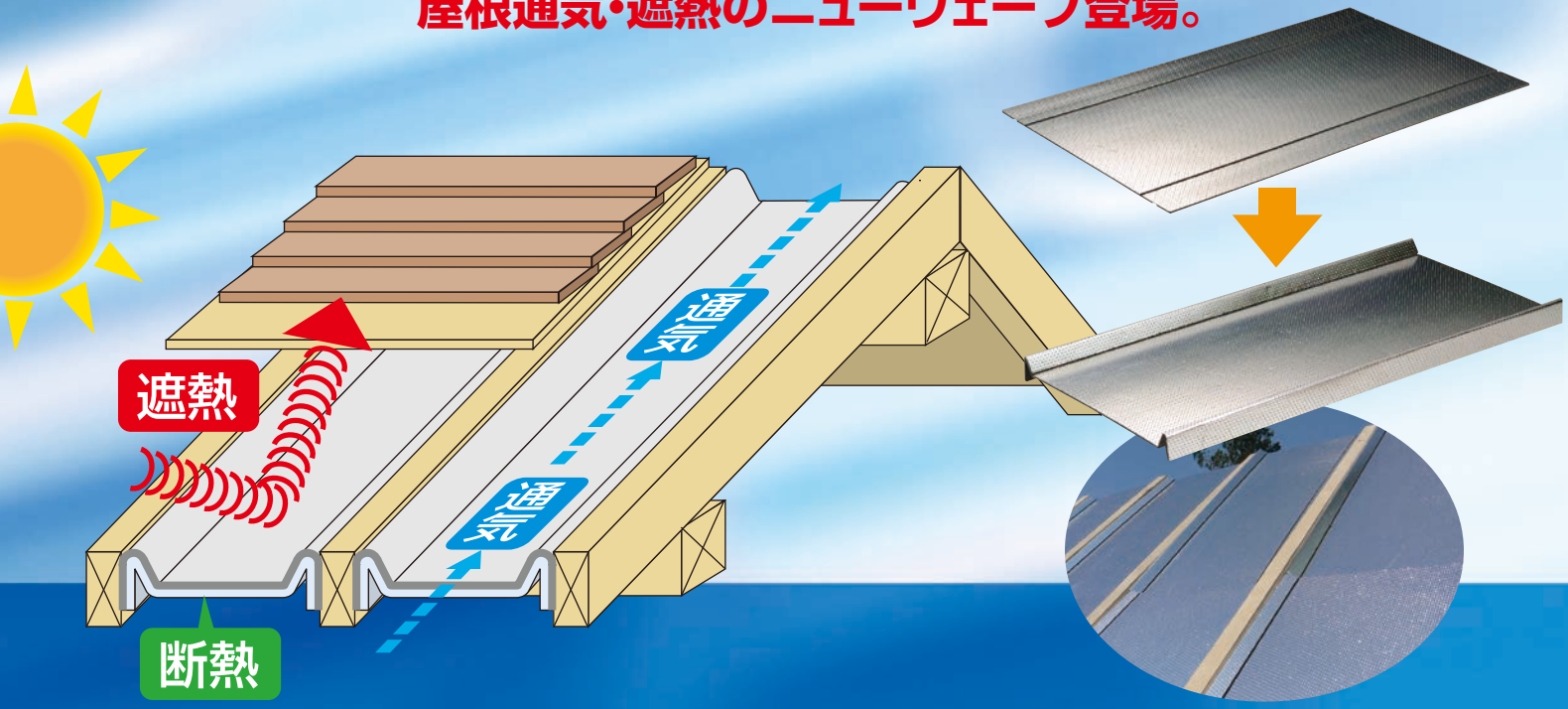
遮熱ボード

屋根通気・遮熱の決定版!!

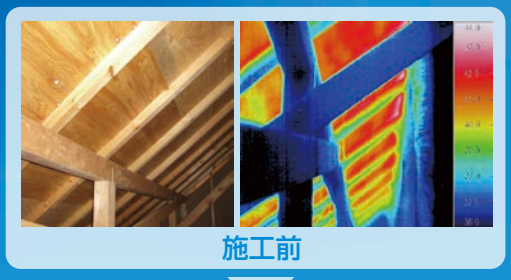
ミラスルー

遮熱 ＋ 通気 ＋ 断熱 の三要素を兼ねそなえた総合部材。

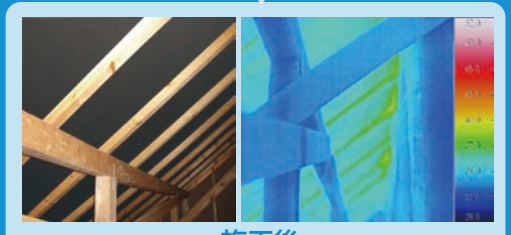
屋根通気・遮熱のニューウェーブ登場。



ミラスルー施工実棟試験（栃木県 O邸）



施工前

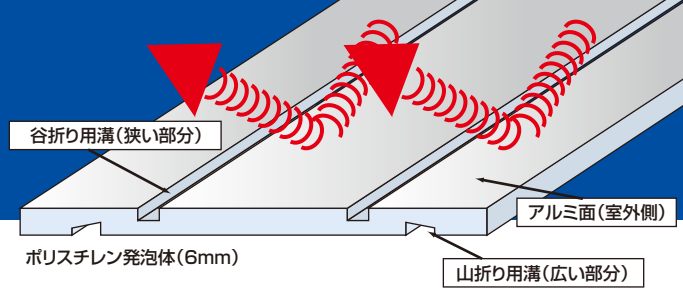


施工後

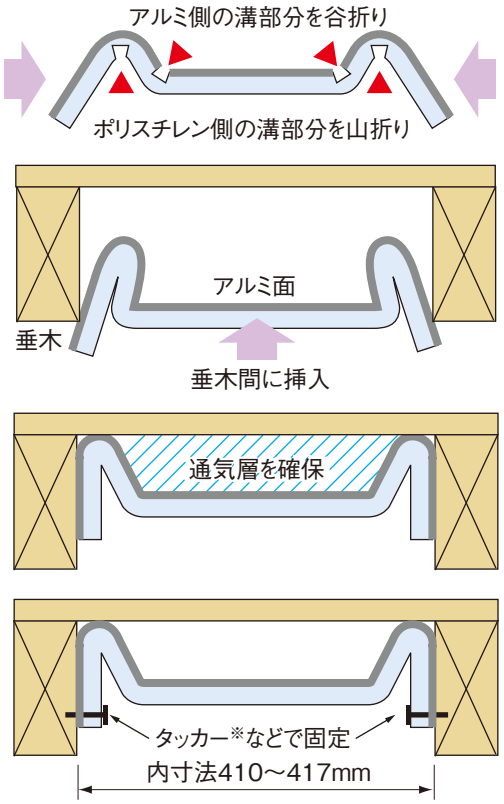
1. アルミ蒸着フィルムを面材に採用し、赤外線の侵入を低減。
2. 従来の通気用部材になかった断熱性能をプラス。
3. 簡単折り曲げ形状により、垂木間への施工がラク。
4. 剛性の高い発泡層と製品形状で通気層を確保。
5. 野地板施工後やリフォーム等の後施工でも使用可能。
6. 発泡ポリスチレンの独立気泡構造に高い断熱性能を長期保持。

株式会社 ＪＳＰ

折り曲げて、垂木に押し込むだけで通気層を確保!
高断熱材にアルミをプラス。遮熱効果がさらにアップ!



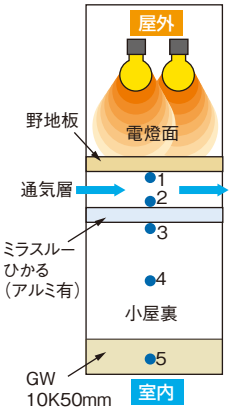
■ 施工手順



※タッカーステープルは長さ10mm以上をご使用ください。

■ アルミ遮熱効果

●アルミ遮熱効果試験装置



測定ポイントNo.1が70℃の場合

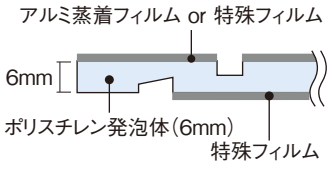
	1	2	3	4 小屋裏温度	5 GW蓄熱温度	70℃到達時間
ミラスルーなし	70	—	—	31.7	35.6	3:40:10
ミラスルーあり	70	36.2	31.5	26.9	26.4	1:09:21
温度(時間)差	0	—	—	-4.8	-9.2	2:30:49

3時間経過後の温度

	1	2	3	4 小屋裏温度	5 GW蓄熱温度	時間
ミラスルーなし	69.1	—	—	31.2	34.7	3:00:00
ミラスルーあり	85.5	43.2	35.4	27.7	26.8	3:00:00
温度(時間)差	16.4	—	—	-3.5	-7.9	0

・夏場を想定
・No.1が70℃になった時点での各測定温度を上記に示す。
・ミラスルーの断熱効果により、小屋裏(測定点4)では、4.8℃の温度差が生じている。
・ミラスルーのアルミ蒸着フィルムの遮熱効果により、赤外線の透過が抑制されるため、GWの温度上昇が抑制され、9.2℃の温度差が生じている。
・また3時間経過後(ミラスルーありの平衡状態)の温度比較においても、同様の効果が得られている。

■ 構成および物性



項目	単位	測定値
熱伝導率	W/m・K	0.030
圧縮強度	N/cm²	9.0
曲げ強度	N/cm²	89.6
耐熱性	℃	80以下
透湿係数(Wp)	ng/(m²·s·Pa)	295
透湿抵抗値(Zp)	×10³(m²·s·Pa)/ng	3.41

※測定方法 JIS A 9511

■ 規格

品名コード	品 種	アルミ有無	製品寸法(mm) 厚さ	幅	長さ	入数(枚/ケース)
MSR-HPN	ひかる	有	6±1	586±10	850±10	50 (約5.8坪分)
MSR-TPN	とおる	無	6±1	586±10	850±10	

ミラスルー取扱注意事項

1.火気注意	火気に接触すると燃えます。ミラスルーは燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分注意するとともに、適切に養生してください。溶接溶断に当たってはご注意ください。
2.紫外線注意	直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。
3.有機溶剤注意	アルコール以外の有機溶剤、石油類には侵されます。接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にメーカーにお問い合わせください。
4.高温注意	使用温度は80℃以下です。80℃を越えると徐々に変形しはじめますので、高温での使用はさけてください。又、急激な温度上昇は極度の変形を伴う場合がありますので、ご注意ください。
5.割れ・踏み抜き注意	局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。
6.強風注意	強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。
7.施工に関して	軒先での通気(換気)確保のため、ミラスルーは敷桁ラインまでの施工としてください。また、ミラスルーの遮熱性能を最大限に生かすため、棟換気の設置を推奨します。

以上の注意事項に関しては、一般的取り扱いを対象としたものです。詳細についてはお問い合わせください。

株式会社 JSP 建築土木資材事業部 ホームページ www.co-jsp.co.jp

東日本建材営業部
札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル) TEL 011-231-2681(代) FAX 011-231-7850
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1(青葉通パークビルディング) TEL 022-262-3271(代) FAX 022-266-9583
東日本住宅グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル) TEL 03-6212-6363 FAX 03-6212-6369
西日本建材営業部
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル) TEL 052-962-3225(代) FAX 052-962-3252
大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16(いちご堺筋本町ビル) TEL 06-6264-7903 FAX 06-6264-7913
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17(Totsu Biz Hakata Frontビル) TEL 092-411-6863 FAX 092-474-2706
工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

2026.11.0000